

「大きな出来事は」と何うと「昭和54年秋に大型の台風20号が接近し、『午前中にも被害が発生するのでは』との情報があり、保護者から多くの相談がありました。『約1300人の給食をどうするか』『帰宅時

学校の『安全対策』の基礎作り
児童数が増加し「もうひとつ小学校が必要ではないか」という話が持ち上がった時期に開成小学校PTA役員を務めた長谷川さんに、当時のPTA活動を聞きました。



昭和44年に小田原市から開成町に転入。昭和54年から55年まで開成小学校PTA副会長、昭和56年には同校PTA会長を務める。また、町青少年健全育成会役員、下延沢自治会長を務める。

昭和50年代

PTA活動を振り返る
「児童数が大幅に増加」
長谷川 登さん(下延沢)

「小学校の思い出」でまず浮かぶことは、1年生の2月に町村合併があり、酒田村と吉田島村がひとつになって「開成町」が誕生したことで、町誕生の祝賀行事が次から次へとあったそうです。
入学当初からそれぞれの村の子ともという意識はなく、みんないっしょに仲良く学び遊んでいたのが、開成町が誕生しても子どもたちの心の中に変化は特になかったようです。

開成町誕生に立ち会う



開成町で生まれ、開成小学校を昭和35年3月卒業。中学高校と進み、大学ではレスリング部で活躍。現在は高校でレスリング部の指導者として情熱を燃やす。また、平成21年度から町の行政相談委員も務めている。

昭和30年代

二つの村が合併し
開成町が誕生
辻村 将さん(榎本)

とにかく、男の子も女の子も、みんないっしょに仲良く遊んでいた。うで「一年中、遊びはほとんど外で元気に飛び回っていて、冬でもたこあげ、こま回し、めんこ、かちんこ玉、釘とおしと楽しかったです」と感慨深げに遊びの名をたいせつに話されました。

給食のミルク「脱脂粉乳」

当時の学校給食で大きな変化があったそうです。「学校から出されるのは、『脱脂粉乳』のみだったのが、『おかず』『主食』と追加され、最終的に全部が出る完全給食になりました。卒業前の3か月間ですが待ちに待った『完全給食』になったんですよ。温かくて、おいしくてとてもうれしかったですね。」

「脱脂粉乳」はミルクのようなものですが、「あれは、なじめない子が多かったですね。おいしくなかったから。でも当時はそんなこと口に出せませんからね」と苦笑いされました。

田んぼに囲まれた木造校舎

当時の小学校の様子を何うと「木造校舎で校庭の中を川が流れていましたね。田んぼに囲まれていて、校門の左側は旧役場、右側には大好きな駄菓子屋がありましたね。帰りに

の安全は確保できるか」などを関係者と相談し、無事子どもたちを安全に下校させることができました。このことは後に学校の安全対策の貴重なモデルになりました。
また、昭和50年代、開成小学校児童数は大幅に増加し、1000人を超えます。第二小学校を要望する声が出てきたのもこの時期です。
「当時、行政や地権者の協力で第二小学校の用地が確保できたことが南小学校建設につながっています。最近までグラウンドとして活用されていましたが、いよいよ開校ですね」と当時を知る長谷川さん。感慨深そうに語ってくださいました。

PTA活動のさまざまな改善

子どもたちの健全育成のため、いろいろな面でPTA活動を改善されたそうです。

「あいさつ運動を進めるため、PTA主催の講演会費用の一部を割りあて、『オウム返し』のステッカーを作り、広く町民に啓発しました。また、給食費とPTA会費を、4月分は5月に集めていましたが、子どもが多い家庭の負担を減らすため、8月に集めるように徴収方法を改善しました。このことは、多くの皆さんに大変喜ばれたそうです。」

寄るのがとても楽しみでした」
また、当時は町を横断する道路は小学校前の県道のみで、バス路線でもあったため、ほとんどの子どもたちは田んぼのあぜ道が通学路になっていたそうです。
また、ほとんどの児童が大晦日を家族そろって夜更かしする時代。「元旦に新年の祝賀式があり、冬休み中でも必ず登校。強制の参加です。校長先生や来賓の方々の年頭のあいさつをみんな眠たい目をこすりながら聞いていましたね」と懐かしそうに語ってくださいました。



昭和30年、新校舎が完成

開成南小学校への期待を何うと「地域住民との交流も含めた新しい形で小学校に育ててほしい」と語ってくださいました。

PTA活動がやりやすいような配慮

「役員として苦労されたことは」と何うと「会社の仕事との両立です。幸い、経営者の理解や職場の協力で活動でき大変助かりました」と振り返られ、現在は企業も厳しく両立は難しくなり「今後は今以上に関係者との協力が必要」と話されました。



昭和55年、開成小学校PTA広報委員会

開成南小学校の開校にあたり「今までの開成小学校の長所を伸ばし、子どもたちは、よい環境を十分生かして、次世代を担う人材として健やかに育ってほしい」と語ってくださいました。

30年2月	町村合併が行われ、開成町立開成小学校となる。
30年7月	新校舎落成式挙行。
32年10月	給食室が完成し、ミルク給食を隔日実施する。(昭和33年4月より週5回)
34年11月	給食室が増築され、完全給食A型(週5日)を実施する。
44年3月	プレハブ校舎(3教室)落成する。
45年1月	県教育委員会指定、給食実験学校として発表会を開催。
45年9月	優良PTAとして県PTA協議会表彰を受ける。
45年11月	給食優良校として文部大臣表彰を受ける。
48年3月	校舎新増築工事一期工事完成。(四階棟)
48年10月	校舎新増築工事二期工事完成。(低学年、管理棟)
50年5月	屋内運動場完成、新校舎落成記念式、開校百年記念祝賀式。
50年8月	優良PTAとして文部大臣表彰を受ける。
50年11月	県視聴覚研究大会研究校として発表会を開催する。
52年2月	理科研究発表会を開催する。
53年3月	北校舎を改築し、一般教室とする。
54年5月	委託加工による米飯給食開始。(週1回)
59・60年度	県児童指導研究推進校に推薦される。
61年2月	「児童、生徒指導」研究協議会を開催する。
62年11月	県教育委員会より神奈川県健康優良学校表彰を受ける。
63年2月	テレビ神奈川の小学校の生活番組「みんな仲よく」児童出演。
63年11月	県教育委員会より優良PTA表彰を受ける。
63年11月	県教育委員会より神奈川県健康優良学校表彰を受ける。
平成	教育活動形態研究校の県指定を受ける。
元年4月	県PTA協議会より優良PTA表彰を受ける。
元年11月	県教育委員会より神奈川県健康優良学校表彰を受ける。
2年2月	図工科研究発表会を開催する。
2年4月	福祉教育研究の県委託校となる。(平成2、3年度)
2年11月	県教育委員会より神奈川県健康優良学校表彰を受ける。
2年11月	県教育委員会より交通安全優良学校表彰を受ける。
3年4月	県学校運営のあり方等実践研究校となる。
3年11月	県教育委員会より神奈川県健康推進学校として表彰を受ける。
3年11月	県教育委員会よりPTAが交通安全功労団体として表彰を受ける。
3年11月	図工科研究発表会を開催する。